

STEP3 ベスト

表編みと裏編み、棒針編みと輪針編みをマスターしたら、初心者でもカンタンに編めるベストに挑戦してみましょう！これまで小物を編みながらステップを踏んできましたが、いよいよ衣類が編める最後のステップです。頑張りましょう！

ベストの詳しい編み図は編み図PDFにのってるよ！



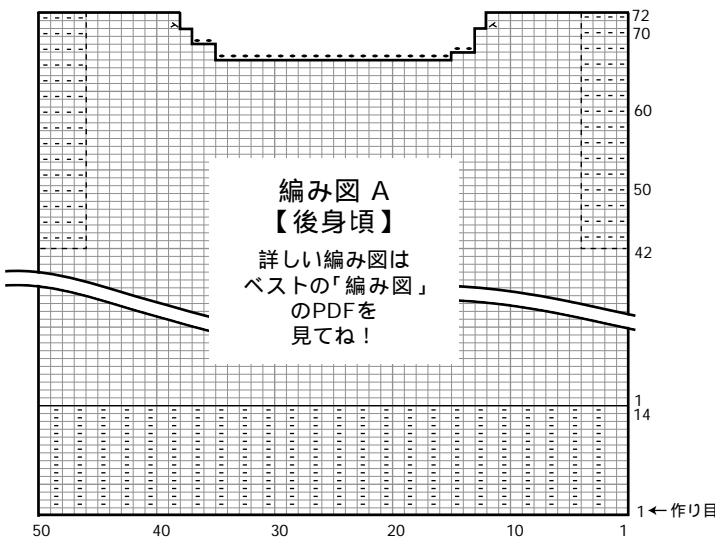
応用編 ~ ベストを編もう！

ベストAの編み図

□ 表目¹ □ 裏目¹ ● 伏せ止め □ 右上2目1度² □ 左上2目1度²

1...編み図を見やすくするために、表目の記号を省略しています。 2...減し目のことです。

毛糸の種類によって、ベストの編み図はAとBの2種類あります(PDF参照)。



ベストに使うクロバーのあみ針 1

「匠」シリーズ

表面についた油分ですべりやすい動物性繊維の毛糸に。「匠」シリーズなら毛糸がほどよくついてくるので、スイスイ編み続けることができます。

「匠」2本針

15号
ジャンボ7・8mm

「ニューカラー」シリーズ

すべりの悪い化学繊維の毛糸に。「ニューカラー」シリーズはプラスチック製なのですべりがよく手早く編むことができます。

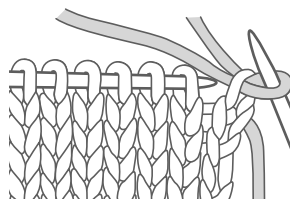
ニューカラー

2本針
15号
ジャンボ7・8mm

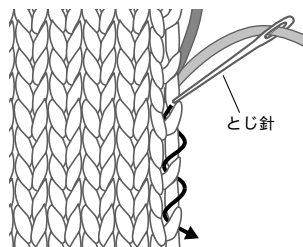
後身頃を編みます。

1. 作り目をPDFの編み図Aは50目、編み図Bは52目つくります。 [作り目 作り目のつくり方PDF](#)
2. 一目ゴム編みをします。 [一目ゴム編み 帽子の編み方PDF/2P](#)
3. 胴部分でメリヤス編みをします。 [メリヤス編み ゲージを編んでみようPDF/1P](#)
4. 途中で糸がなくなったら新しい糸をつなぎ、糸端を始末します。

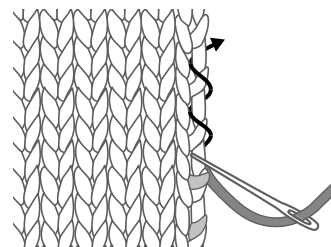
前身頃の目が美しくそろうよう練習を兼ねて、まずは後身頃から編むのが一般的です。



1 新しい糸の端を約15cm残して編みはじめます。



2 糸端はとじ針に通し、編み端の半目にくぐらせていきます。



3 上の糸端も、2と同じように始末します。

5. 袖ぐりにガーター編みを入れます。

ここから肩を編み終える最上段まで、両端にガーター編みを入れていきます。この時ガーター編みとメリヤス編みの間に、しるしとして目数リングを入れましょう。

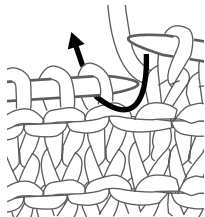
-	-	-	-

ガーター編み

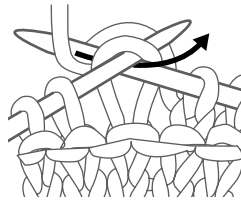


表目と裏目が交互に出ています。

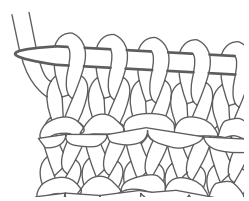
表側からも表編み、裏側からも表編みを編んでいるとガーター編みができあがります。



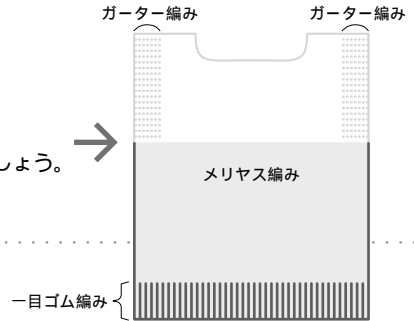
1 表編みをします。



2 ひっくり返して、次の段も表編みをします。

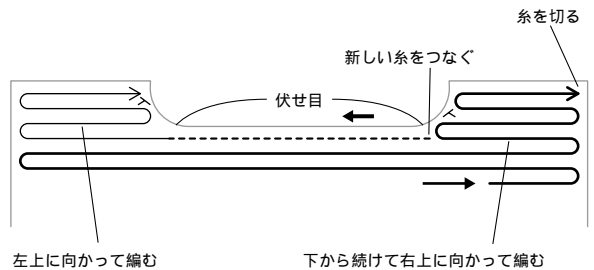


3 1と2を繰り返します。

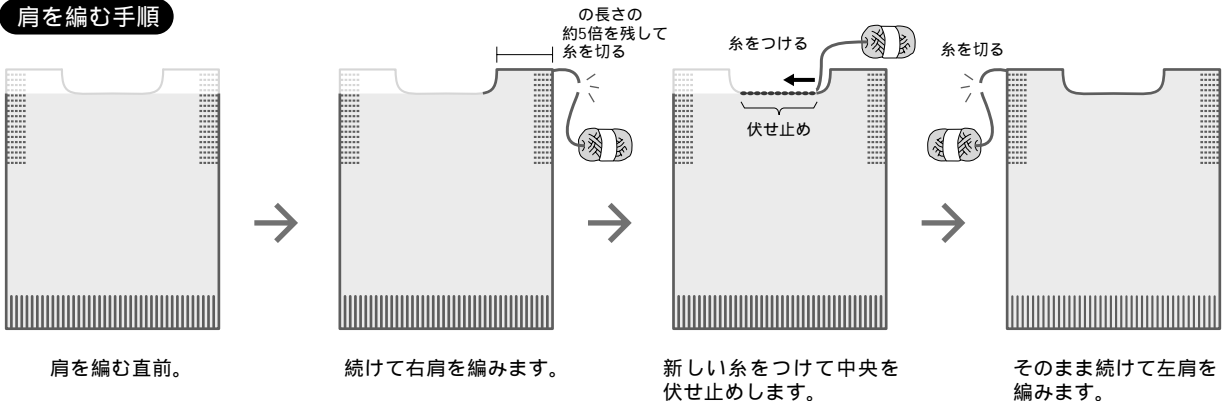


6. 肩を編みます。

身頃の肩は右上(後身頃は右肩、前身頃は左肩に当たる)に向かって編み進めていきます。新しく糸をつけて中央の目を伏せ目にし、そのまま左上に向かって編み進めます。



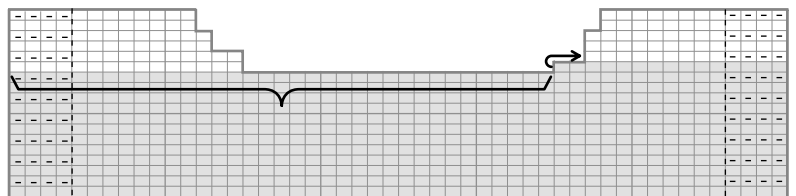
肩を編む手順



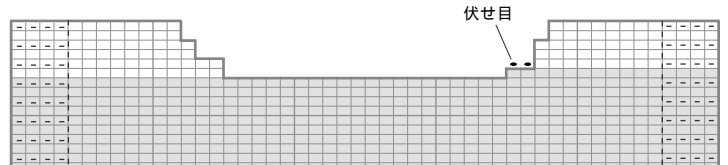
6-1. 右肩を編みます。

■の部分まで編めたら、の目を全て輪針(もしくは別の棒針)に通します。しばらく編むことのない目に、使っていないあみ針や糸を通し、目がほどけてしまわないようにすることを「目を休める」と言います。

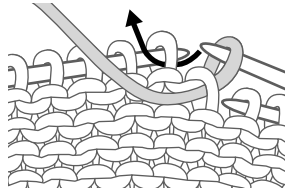
目を休めたら編み地を裏返し、右肩の次の段を編みます。



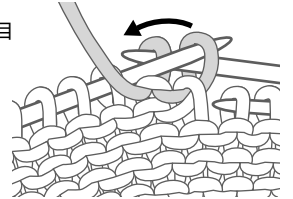
6-2. 右側の衷ぐりの伏せ目をします。



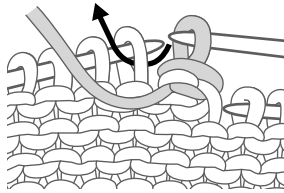
1 裏側を見て2目の伏せ目を編みます。端の目は編まずに右の針に移します。



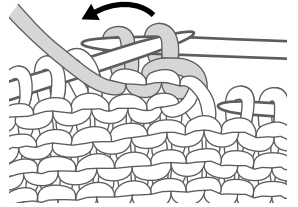
2 次の目を裏目に編み、右の目を裏目にかぶせます。



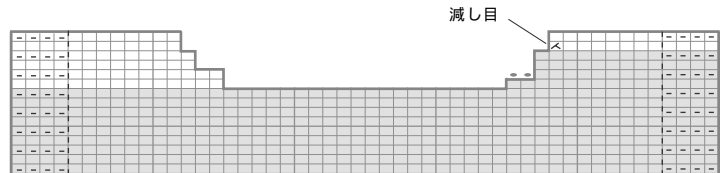
3 次の目も裏目です。



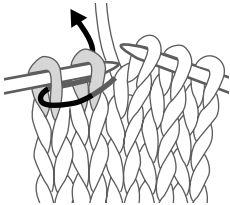
4 左の針で右の目をかぶせます。



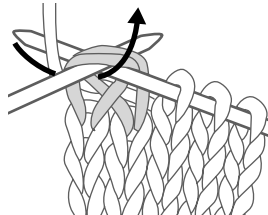
6-3. 左上2目1度の減し目をします。



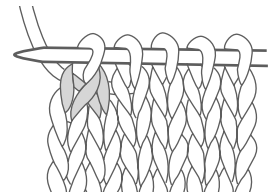
左上2目1度



1 矢印のように2目の左側から一度に針を入れます。



2 糸をかけて引き出し、2目一緒に表目に編みます。

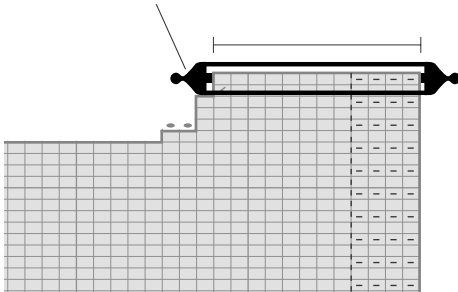


3 左上2目1度のできあがりです。

6-4. 右側を編み終わったら の幅の5倍を残して糸を切り、「両開きほつれ止」で最上段の目を休めておきます。

サイトでご紹介のベストの場合、 の幅が10cmであることから (編み図PDF参照) 約50~60cmの糸を残すことになります。

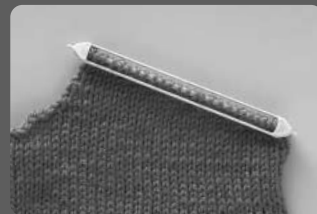
両開きほつれ止 ジャンボ用



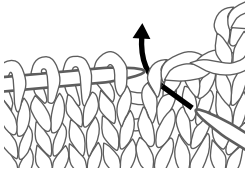
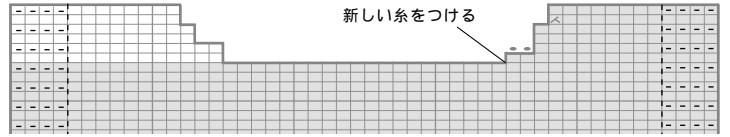
クロバーのあみもの用品

両開きほつれ止 ジャンボ用
2本入(20cm)ジャンボ7mm~12mm用

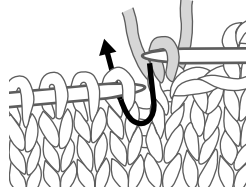
肩などをあとからはぎ合わせる場合の「目を休める」時に使います。棒針に移す必要がなく、そのまま針として使えます。



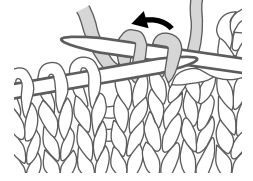
6-5. 新しい糸をつけます。



1 右側の伏せ目の目に針を入れて新しい糸をつけます。

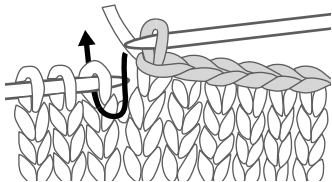
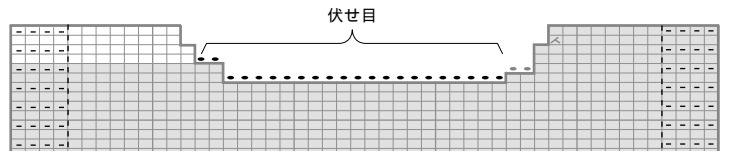


2 糸端を10cmほど残して糸を引き出し、次の目を編みます。

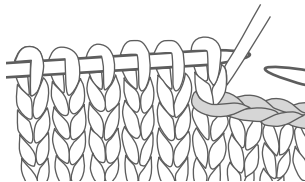


3 左の針で右の目をかぶせて伏せ目にします。2、3を繰り返します。

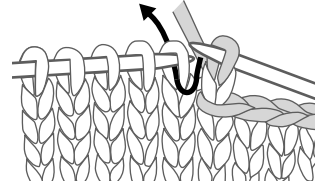
6-6. 左肩の衿ぐりの伏せ目をします。



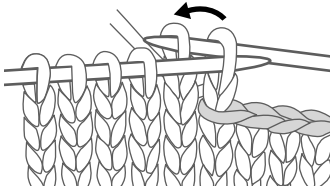
1 中央の目を全て伏せ目にし、次の目から表目に編みます。



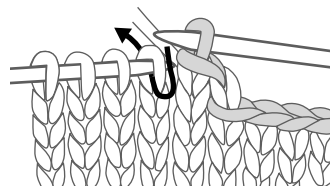
2 2段目は裏から裏目を編み、3段目の始めて2目の伏せ目を編みます。



3 端の目は編まずに右の針に移し、次の目を編みます。

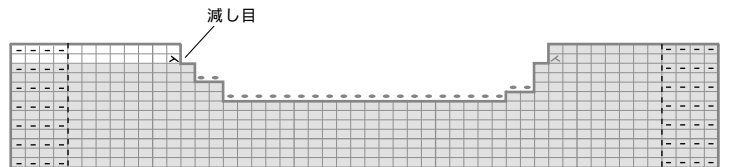


4 左の針で右の目をかぶせます。

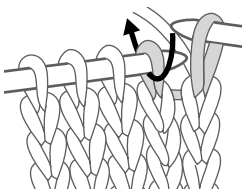


5 次の目も編んでかぶせます。

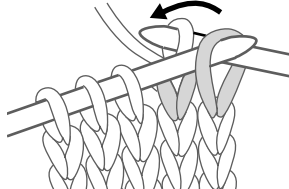
6-7. 右上2目1度の減し目をします。



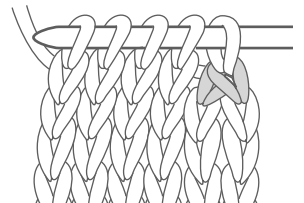
☒ 右上2目1度



1 右側の目に手前から針を入れ、編まずに右の針に移し、次の目を表目で編みます。



2 右側に移した目に左の針を入れ、編んだ目にかぶせます。



3 右上2目1度のできあがりです。